

なぜいま大增税？ 3つの大問題

「こんなに不景気で、大震災・原発事故に苦しんでいるときになぜ大增税か」と大きな批判が起きています。

ムダづかいは続けたまま

公約で中止を約束したハッ場ダム復活で9000億円。1機100億円の次期主力戦闘機を42機も購入

社会保障は切り捨てばかり

年金支給額を2兆円削減、続いて支給開始年齢をさらに引き上げ。70歳から74歳までの医療費を2割に引き上げを狙う

経済も財政も共倒れに

97年、消費税5%増税など9兆円負担で景気はどん底。今回は10%増税など16兆円負担。経済には決定的打撃、税収は大幅ダウン

足10%
りないも

天井知らずの増税地獄

野田首相をはじめ閣僚から際限のない大增税をねらう発言が相次いでいます。安住淳財務相は「今やらなきゃいけないのは、まず（増税の）第一歩をしるすこと」といいました。10%を許せばさらなる増税が始まることを明らかにしました。

野田首相

藤村官房長官

安住財務相

「社会保障改革をやっていく中で消費税が増える可能性はある」

今の制度を維持するだけでも、10%では「不足」

30%必要というのは「統計的事実」

財政危機打開へ3つの対案 日本共産党

消費税増税に頼らなくても社会保障拡充と財政危機の財源は確保できます。

- ①ムダづかいを一掃。増税というなら、まず富裕層・大企業に応分の負担を求める
- ②次の段階では、社会保障を抜本的に拡充するため、国民全体で支える。その場合、「応能負担」にもとづく税制改革で財源を確保する
- ③それらと同時並行で、国民の暮らしと権利を守る「ルールある経済社会」に前進する



野田首相

自民党政治に回帰宣言

野田首相は施政方針演説で、自公政権の総理の演説を引いて「私がめざすものも同じ」とのべました。「自民党政治を変えて」という願いを裏切り、自民党政治への回帰を宣言しました。

沖縄防衛局

親族リスト作り局長「講話」

選挙に介入

宜野湾市長選

各都道府県担当者 殿

お疲れ様です。
次の調査に協力をお願いします。

現在、人事係においては、宜野湾市に在住する職員については、把握しているところですが、職員の親族等が宜野湾市に在住しているか否かについては把握していないことから、下記の件について調査を依頼したいと思います。

○当局職員の宜野湾市に選挙権を有する親族（家族、いとこ、親戚）がいる者の状況について

各都道府県担当者は、別添のファイルに、①宜野湾市在住の職員及び②宜野湾市に選挙権を有する親族（家族、いとこ、親戚）状況を調査し例のとおり記載して、1月6日（金）までに人事係に提出願います。

日本共産党に寄せられたメール

日本共産党が暴露

沖縄防衛局が宜野湾市長選（12日投票）に向け、市内に選挙権がある職員や親族が住む職員の名簿を作成させたうえ、対象者を集めて業務時間内に真部朗局長が「講話」までしていたことが、日本共産党の質問で明らかになりました。

防衛省は「特定候補を支持するものでなかった」と言い訳していますが、国家権力による選挙介入であり、重大な犯罪の疑いがあります。

真相の徹底究明を

日本共産党は、沖縄防衛局の選挙介入の真相を徹底究明するため、真部局長の証人喚問、半分しか公表されていない「講話」記録全体の国会提出を求めています。